

名勝清風荘庭園について

○造園花子¹、造園太郎²、造園次郎¹

1 庭園研究所、2 ランドスケープ大学

清風荘は、徳大寺家の清風館という名の別荘であったが、西園寺公望の弟である住友春翠が明治40年（1907）に徳大寺家より譲り受け、公望の京都での控邸とした。工事は住友の財によって行なわれ、清風荘と名付けられた。公望の没後は住友家によって保管されていたが、京都帝国大学創設（明治30年（1897））に、文部大臣として、また私人として支援された公望の遺徳を偲ぶために、昭和19年（1944）に京都帝国大学（現 京都大学）に寄贈された。

建築は大工二代目八木甚兵衛が担当し、明治43年（1910）に着工、大正2年（1913）に竣工した。主屋など12棟は、平成24年（2012）に国の重要文化財（建造物）に指定されている。

庭園は、七代目小川治兵衛（植治）が担当し、明治45年（1912）から大正2年（1913）に作られた。建物の前面にやわらかく起伏する芝生と、緩やかに曲がる園路、滝や流れ、池などの豊かな水の表情と、築山のアカマツの群植、築山の背後に望む東山の借景などは、植治の庭の特徴をよく表している。庭園は、昭和26年（1951）に国の名勝に指定されている。

原稿作成上の注意

1. A4用紙を使用し、書式設定は次のようにすること
 - ・ 40字×37行
 - ・ 上・下余白 35mm 左・右余白 22mm
 - ・ 1行目にタイトル、2行目に氏名と所属を示す番号（各氏名の右肩に上付き文字で）、3行目にその番号と所属を書く。1行空けて、本文を始める。
 - ・ ページ番号は入れない
2. 発表者の氏名の先頭に○印をつけること
3. 写真では、細かい表現はできない
4. 原稿枚数は2枚
5. PDFによる送付の場合、ファイル名は第1著者名（ローマ字）とすること
例 tanaka.pdf